

## 2022年度の事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

認定特定非営利活動法人 京都 DARC

### I 事業の成果

#### ■障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス

2021年度に引き続き、共同生活援助（介護サービス包括型）事業をネクサス1,2にて、自立訓練（生活訓練）事業をデイセンター・マハロにて行った。2023年3月末のグループホーム・ネクサス1,2への入寮者は11名、デイセンター・マハロへの通所登録者は12名であった。

#### ■京都 DARC での相談援助事業

薬物依存症者及びその家族への相談援助事業は薬物依存症者38件、薬物依存症者の家族33件、関係者21件の電話相談や来所面談等を行った。家族カウンセリングは、40件であった。家族プログラムは12回行い、参加者の平均は7名であった。

#### ■デイセンター・マハロでの回復プログラム(ボランティア等)と地域交流

回復プログラムとして、農作業やボランティア等の様々な事業を行った。

農作業は、以前からお世話になっている亀岡市の農家の方の畑や田での野菜や米作りを7回、綴喜郡井手町の畑をお借りしてニンニクと玉ねぎの栽培を12回行った。

ボランティア活動については、喫茶店等でのボランティアを78回、さらに2021年度に引き続き、週1回ネクサス1近くの公園・道路の清掃ボランティアを行った。また、東九条清掃ボランティア並びにセカンドハーベストの食料品配達、スポーツイベント等のお手伝いを通して、地域との交流を深めた。

コロナウイルスによる行動制限も徐々に緩和され、東九条春祭り、向島元気バザールや京都福祉まつり等のイベントにて、たこ焼きやフランクフルトの飲食販売を通じて地域との交流を深めた。さらに、京都文教大学地域連携学生プロジェクト「REACH」とアクセサリ作り等の交流活動を行った。

#### ■京都府薬務課、京都市との共同事業

昨年度も京都府薬務課との共同事業を行った。薬物依存症の電話相談「きょう - 薬物をやめたい人 - のホットライン(薬物依存ホットライン)」(京都 DARC 内に設置と広報している)では、20件の電話相談があった。京都府薬物依存者に対する北部移動相談事業(舞鶴市)を12回、「若年者向け薬物再乱用防止プログラム(明日への扉を今開こう! OPEN)」を16回行った。

また、京都市との共同事業である、「京都市薬物依存症再発防止プログラム(KEEP)」の講師派遣は、14回行った。

#### ■薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業

昨年度は2年ぶりに京都ダルク19周年記念フォーラムを開催した。当事者、家族、保健・福祉関係者・教育関係者・司法関係者・地域住民・学生等、約150名の参加があった。また、新たな啓発の形として、オリジナル布コースターを製作し、地域住民やダルク支援者に配布を行った。

2 事業の実施に関する  
事項  
(1) 特定非営利活動に  
係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
⑥ 障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	①薬物依存症回復支援施設の運営事業	365日	ネクサス1・2	6	(平均) 10.4名/日	38,796
	①薬物依存症回復支援施設の運営事業	月～土 9:30～ 17:00  314日	デイセンター ・マハロ	5	(平均) 11名/日	29,857
	③薬物依存症者への生活支援事業	ミーティング、レクリエーション、昼食作りなどのプログラム				
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業	書籍販売	随時	京都DARC	2	薬物依存症者とその家族・関係機関職員等	0
②薬物依存症者及	薬物依存症者相談	随時	京都DARC	7	38件/年	

びその家族への相談援助事業	家族・関係者相談	随時	京都DARC	8	33件/年 薬物依存症者家族 21件/年 関係者
	ホットライン相談	随時	京都DARC	7	11件/年 薬物依存症者 6件/年 薬物依存症者家族 3件/年 関係者
	インターベンションプログラム	随時	各拘置所・留置施設	8	23件/年
	家族プログラム	12回/年	京都DARC	1	(平均) 7名/回 薬物依存症者家族
	家族カウンセリング	随時	京都DARC	1	40件/年 (59.5時間)
	京都府北部薬物依存症者に対する移動相談	12回/年	中丹東保健所	5	(平均) 4.8名/回 薬物依存症者・関係機関職員等
	刑務所等における薬物離脱教育指導講師派遣	24回/年	各刑務所・拘置所	5	薬物依存症者
	更生保護施設盟親健	8回/年	更生保護施設盟親	1	(平均)
					2,126

	康学習会講師派遣				6名/回
	OPEN「若年者向け薬物再乱用防止プログラム」講師派遣	16回/年	キャンパスプラザ	2	(平均) 3.9名/回
	KEEP「京都市薬物依存症再発防止プログラム」講師派遣	14回/年	京都市こころの健康増進センター	1	薬物依存症者
	「薬物再乱用防止プログラム」講師派遣	24回/年	京都保護観察所	2	薬物依存症者
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業	ニュースレター発行	6回/年	京都DARC	4	1300部/回
	フォーラム開催	1回/年	京都府内	9	150名/回
	出張フォーラム開催	0回/年	京都府内	0	0
	各種研修会等講師派遣 (関係者・PTA・福祉等)	6回/年	全国	6	100名/回
	学校・高校・大学への講師派遣	12回/年	関西圏各学校	6	中学・高校・大学の生徒教員及び保護者等約150名/回

	他機関との協力・連携 (市こころの健康増進センター・府精神保健福祉総合センター)	3回/年	府・市のセンター	4	薬物依存症者、関係機関職員
	ダルクグッズの製作	随時	京都 DARC	2	関係機関職員
⑤薬物依存症者の社会復帰促進事業	喫茶店等でのボランティア	36回/年	バザールカフェ	2	(平均) 4名/回
	地域でのボランティア	42回/年	京都市	8	利用者
	就労相談	随時	京都DARC	8	利用者
	研修会参加	3回/年	全国	8	利用者
	農作業体験	7回/年	亀岡市	4	(平均) 6名/回
⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業	施設内研修	12回/年	京都DARC	3	(平均) 8名/回 職員、関係者
	施設外研修	3回/年	全国	8	(平均) 1.4名/回 職員、関係者

(2) その他の事業 当該事業年度  
は実施しなかった。